

試合番号 : 247		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 0		
開始時間 : 18:00		終了時間 : 19:34		試合時間 : 01:34		主審 : 原 啓之		
副審 : 戸川 太輔		通算		24 勝 8 敗		通算		
ウルフドッグス名古屋		ポイント : 71		25 第1セット 15		ジェイテクトSTINGS		
監督コメント	本日の試合を世界中から心待ちにして下さっている我々ウルフドッグス名古屋のファンの皆様、いつも応援ありがとうございます。リモートマッチではありましたが、応援して下さいの方々の存在がこの厳しいスケジュールの中で、試合は相手がアイフェンスに苦しむ場面もありましたが、全員で粘り強く戦い抜くことができました。エントリオの周りは桜が咲いて春の訪れを感じております。世界中のファンの皆様にご一緒できるときまで楽しみにしております。 Unite as One!		3		0		監督コメント	
	レシーブで苦戦する場面が多かったです。いつも応援してくれてありがとうございます。引き続きお願いします。		25 第2セット 22		25 第3セット 18			
			25 第4セット		第5セット			
要約レポート		ウルフドッグス名古屋とジェイテクトSTINGSの愛知県同士のチームの対戦。3勝しているWD名古屋に対し、一矢報いたいジェイテクトの一戦。第1セット、WD名古屋はクレクや山崎、ジェイテクトは藤中や宮浦の両サイドからの打ち合いで始める。中盤に入りWD名古屋はクレクや傳田のブロック、永露や高梨のサーブで点差を広げる。16-8と点差が開いたところで、ジェイテクトはセッターを久保山から道井へ交代し流れを変えようとするが、WD名古屋の強いサーブに守備が崩れ、攻撃が単調となり点差を縮めることができず、WD名古屋が勝ち取った。第2セット、両チームともにセンター攻撃も交えつつ、ジェイテクトは宮浦、WD名古屋はクレクにボールを集め強打の打ち合いとなるが、両チームのブロックがうまく機能し、点差が開かないまま終盤に突入。WD名古屋の山崎のバックアタックで守備を崩し、クレクのブロック、サーブサービスで点差を広げる。ジェイテクトはサイド攻撃で反撃するも最後はWD名古屋の永露がベンチ付近から上げたトスをクレクが打ち込み、このセットも勝ち取った。第3セット、WD名古屋は永露のサーブで守備を崩し、ブロックで点数を取るという理想的な形で始める。WD名古屋が3点差を維持しながらゲームが展開する中、ジェイテクトはリリーフレシーバーとして高橋を投入。縦横無尽にボールを追いかけ繋げるも流れを変えるまでいかず交代。その後、WD名古屋はクレク、山崎のサーブ、傳田のクイック、高梨のバックアタックにより最大7点差までリードを広げ、終盤に投入した小山の活躍により点差を稼ぎ、最後はクレクのライトからの攻撃で勝ち切った。						

試合番号 : 248		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 0		
開始時間 : 18:00		終了時間 : 19:54		試合時間 : 01:54		主審 : 服部 篤史		
副審 : 慈眼 雅啓		通算		24 勝 10 敗		通算		
堺ブレイザーズ		ポイント : 72		25 第1セット 22		FC東京		
監督コメント	今日はリモートマッチということで、無観客での試合となりましたが、今リーグ最終戦ということで勝利で終わることが出来たことは良かったです。日本代表に選ばれる選手や引退選手などいる中で、このメンバーで試合が出来る最後の日となりました。チーム丸となり、全員バレーで最後まで戦い抜くことが出来たのも、サポーターの皆さんのお陰です。長いリーグ戦、応援ありがとうございました。		3		1		監督コメント	
	無観客での開催でしたが試合ができたことを嬉しく、また感謝をしております。第1、2セットはこちらの攻撃をなかなか機能させてもらえず、非常に苦しい展開でしたがエスベホ選手のプレーでチームに自信を与え、第3セット以降良い形を作ることができました。第4セットは序盤と終盤に相手チームのサーブにプレッシャーをかけられて取り返すことができませんでしたが、オフェンスにおいては良いリズムを作ることができました。残り2試合、課題を修正して勝利をものにしたいと思います。本日も応援ありがとうございました。		25 第2セット 19		21 第3セット 25			
			25 第4セット 20		第5セット			
要約レポート		3月6日に開催を予定していたが中止となり、リモートマッチでの再試合の開催が決まった堺ブレイザーズ対FC東京の一戦。第1セット、堺は序盤から高野のスパイクやブロックなどでリードする。対するFC東京もクヴァーレン、長友がスパイクで徐々に点差を縮めるも、堺はバーノンの強烈なスパイクで逃げ切り先取る。第2セット、堺はセッター山口の巧みなトスワークやリベロ山本の確実なレシーブなどで順調な試合運びを見せ、このセットを連取する。第3セットも序盤から堺がリードするも、対するFC東京は中盤からクヴァーレンのサーブサービスに加え、エスベホや柳町のスパイクなど、次々と点を取り、追い上げを見せ終盤に逆転。FC東京がこのセットを取り返す。第4セット、堺は松本の速攻を中心に攻撃を組み立て、点差を広げるも、FC東京は終盤に1点差まで詰め寄る。しかし堺のバーノンが最後に3連続サーブサービスを決め、ゲームセット。堺は今シーズン最後のホームゲームをしっかりと勝ち切り、リモートで応援するファンに勝利を届けた。						

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算		
		ポイント :		第1セット		ポイント :		
監督コメント			第2セット		第3セット		第4セット	
			第5セット					
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算		
		ポイント :		第1セット		ポイント :		
監督コメント			第2セット		第3セット		第4セット	
			第5セット					
要約レポート								